



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）久布白 兼直
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営管理部長 （氏名）落合 雅三 TEL 03-6631-1201
半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	404	1.3	△755	—	△710	—	△705	—
2024年9月期中間期	399	14.4	△658	—	△632	—	△634	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△2.67	—
2024年9月期中間期	△2.55	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	5,437	4,432	81.5
2024年9月期	5,700	5,190	91.1

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 4,432百万円 2024年9月期 5,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930	21.0	△1,491	—	△1,485	—	△1,489	—	△5.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年9月期中間期	264,729,198株	2024年9月期	264,515,306株
2025年9月期中間期	64株	2024年9月期	64株
2025年9月期中間期	264,565,777株	2024年9月期中間期	249,065,464株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・当社は、2025年5月29日（木）に機関投資家及び証券アナリスト向けにオンラインによる決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2024年10月1日から2025年3月31日まで)においては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調となりましたが、一方では物価上昇の継続やアメリカの政策動向等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は事業の中核をなす医療機関向けの特定細胞加工物の製造に加えて、企業等に向けた細胞加工業への展開、再生医療等製品の開発の加速等、新たなビジネス領域の拡大により早期の収益構造の改善に注力しておりますが、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いております。

この結果、当中間会計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	中間純損失(△)	1株当たり 中間純損失 (△)
当中間会計期間	404	△755	△710	△705	△2.67円
前中間会計期間	399	△658	△632	△634	△2.55円
増減率(%)	1.3	—	—	—	—

当中間会計期間においては、「特定細胞加工物製造業」の売上高は前年同期に計上した技術移転一時金は発生しなかったものの、前年より開始した株式会社資生堂より技術提供を受けた製造受託に伴う売上高が期初より発生したほか、「バリューチェーン事業」の売上高が52百万円(前年同期比85.6%増)となったことから、売上高は404百万円(前年同期比1.3%増)となりました。損益面につきましては、上記のとおり売上高が増加した一方、細胞加工受託の拡大に向けた新規細胞加工の受託体制の整備に係る先行投資により原価が増加し、売上総利益は58百万円(前年同期比24.8%減)、販売費の増加等により販売費及び一般管理費は814百万円(前年同期比10.5%増)となり、営業損失は755百万円(前年同期は営業損失658百万円)となりました。また、加工中断収入5百万円(前年同期比15.7%増)、投資事業組合運用益30百万円(前年同期比48.8%増)等の営業外損益により、経常損失は710百万円(前年同期は経常損失632百万円)となり、投資有価証券売却益7百万円を特別利益に計上したことにより、中間純損失は705百万円(前年同期は中間純損失634百万円)となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間損益計算書 計上額 (注) 2	
	細胞加工業		再生医療等製品事業			売上高	セグメント 損失 (△)
	売上高	セグメント 損失 (△)	売上高	セグメント 損失 (△)	セグメント 損失 (△)		
当中間会計期間	404	△231	0	△216	△307	404	△755
前中間会計期間	399	△154	0	△219	△285	399	△658

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っています。

① 細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域(「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」)の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。当中間会計期間においては、「特定細胞加工物製造業」では従来の免疫細胞の製造受託に加え、前年より開始した株式会社資生堂より技術提供を受けたS-DSC®の製造受託開始に伴う売上高が期初より発生しましたが、前年同期に計上した技術移転一時金が発生しなかったことから売上高は300百万円(前年同期比5.6%減)、「CDMO事業」では従来のヤンセンファーマ株式会社からの製造受託が継続しており売上高は51百万円(前年同期比2.7%減)となりました。一方、「バリューチェーン事業」ではMedigen社からのロイヤリティ収入及び医療機器の販売等が発生したことから売上高が52百万円(前年同期比85.6%増)となった結果、売上高は404百万円(前年同期比1.3%増)となりました。細胞加工受託の拡大に向けた新規細胞加工の受託体制の整備に係る先行投資による原価の増加や販売費の増加等より、セグメント損失は231百万円(前年同期はセグメント損失154百万円)となりました。

② 再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、九州大学と共同で実施しておりました慢性心不全治療を目的とする再生医療等製品（ α -GalCer/DC）の医師主導第Ⅱb相試験の結果を踏まえて総合的に検討した結果、 α -GalCer/DCの開発中止を2024年11月に決定いたしました。今後、 α -GalCer/DCにかわる開発候補品の早期獲得を目指すとともに、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充を行ってまいります。当中間会計期間においては、売上高は0百万円（前年同期比12.0%増）、研究開発費の減少等によりセグメント損失は216百万円（前年同期はセグメント損失219百万円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(財政状態)

	前事業年度末	当中間会計期間末	増減
資産合計（百万円）	5,700	5,437	△262
負債合計（百万円）	509	1,004	495
純資産合計（百万円）	5,190	4,432	△757
自己資本比率（%）	91.1	81.5	△9.6
1株当たり純資産（円）	19.62	16.75	△2.87

資産合計は、前事業年度末に比べて262百万円減少し、5,437百万円となりました。主な要因は現金及び預金1,299百万円の減少、有価証券の増加500百万円、流動資産「その他」の増加501百万円です。

負債合計は、前事業年度末に比べて495百万円増加し、1,004百万円となりました。主な要因は、未払金482百万円の増加です。

上記の流動資産「その他」及び未払金の増加は合同金銭信託の購入の過程で一時的に発生したものであり、自己資本比率が一時的に減少しております。

純資産合計は、前事業年度末に比べて757百万円減少し、4,432百万円となりました。主な要因は、第29回定時株主総会決議に基づく欠損填補による資本金1,387百万円及び資本準備金1,327百万円の減少並びに利益剰余金2,714百万円の増加、また中間純損失計上に伴う利益剰余金705百万円の減少です。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の91.1%から81.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて2,299百万円減少し、2,351百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

なお、当社は、現金及び現金同等物を、取得日から満期までの期間が3ヶ月以内の短期投資であり、容易に換金可能で、かつ価格変動リスクが僅少なものと定義しております。当中間会計期間末において保有する一部の定期預金については、満期までの期間が3ヶ月を超えており、かつ途中解約による即時換金が制限されているため、現金同等物には含めず、投資活動によるキャッシュ・フローとして計上しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用した資金は754百万円（前年同期は573百万円の使用）となりました。

これは主に、税引前中間純損失703百万円、売上債権の増加73百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は1,543百万円（前年同期は17百万円の使用）となりました。

主な支出は、定期預金の預入による支出1,000百万円、有価証券の取得による支出500百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は2百万円（前年同期は1,095百万円の獲得）となりました。

主な支出は、株式の発行による支出1百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月13日に公表しました業績予想から変更はございません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減後、回復が十分でないことに加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、細胞加工業セグメントにおいては、特定細胞加工物の受託拡大と新規のCDMO案件の獲得等にて売上高の回復を図るとともに、製造体制の適正化による原価の低減、販売費の効率化等により、同セグメントのセグメント利益の黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当中間会計期間末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,651,181	3,351,191
有価証券	—	500,000
売掛金	227,801	301,650
商品及び製品	—	309
仕掛品	18,684	29,506
原材料及び貯蔵品	31,473	28,794
その他	83,935	585,267
流動資産合計	5,013,076	4,796,719
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	340,610	312,037
その他（純額）	82,073	79,647
有形固定資産合計	422,683	391,685
無形固定資産	100,761	93,417
投資その他の資産		
投資有価証券	101,522	91,521
長期貸付金	495,250	492,750
その他	86,466	87,853
貸倒引当金	△519,728	△516,628
投資その他の資産合計	163,509	155,495
固定資産合計	686,955	640,598
資産合計	5,700,031	5,437,318
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,502	54,326
未払金	97,284	579,591
未払法人税等	28,654	15,508
賞与引当金	67,604	66,141
その他	17,876	57,129
流動負債合計	268,922	772,697
固定負債		
資産除去債務	160,157	161,172
株式報酬引当金	43,865	56,115
その他	36,319	14,349
固定負債合計	240,342	231,638
負債合計	509,264	1,004,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,486,162	5,102,250
資本剰余金	1,327,182	3,850
利益剰余金	△2,714,945	△705,658
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,098,395	4,400,436
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,370	32,545
評価・換算差額等合計	92,370	32,545
純資産合計	5,190,766	4,432,982
負債純資産合計	5,700,031	5,437,318

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	399,694	404,787
売上原価	321,255	345,806
売上総利益	78,439	58,981
販売費及び一般管理費	737,196	814,860
営業損失(△)	△658,757	△755,879
営業外収益		
受取利息	3,334	6,125
投資事業組合運用益	20,281	30,181
貸倒引当金戻入額	3,100	3,100
加工中断収入	4,622	5,350
その他	1,407	1,817
営業外収益合計	32,745	46,573
営業外費用		
支払利息	16	5
為替差損	5	8
株式交付費	6,494	1,514
営業外費用合計	6,517	1,529
経常損失(△)	△632,528	△710,835
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,281
特別利益合計	—	7,281
税引前中間純損失(△)	△632,528	△703,553
法人税、住民税及び事業税	2,105	2,105
法人税等調整額	△397	—
法人税等合計	1,708	2,105
中間純損失(△)	△634,236	△705,658

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△632,528	△703,553
減価償却費	56,303	49,787
株式報酬費用	4,608	3,258
賞与引当金の増減額(△は減少)	712	△1,463
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,855	△3,100
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	12,685	12,250
受取利息及び受取配当金	△3,334	△6,125
支払利息	16	5
投資事業組合運用損益(△は益)	△20,281	△30,181
株式交付費	6,494	1,514
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,281
売上債権の増減額(△は増加)	13,172	△73,849
棚卸資産の増減額(△は増加)	15,584	△8,452
破産更生債権等の増減額(△は増加)	3,526	600
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,572	△3,776
未払金の増減額(△は減少)	△23,762	△16,580
未払又は未収消費税等の増減額	30,053	5,372
その他	△20,369	26,258
小計	△572,546	△755,316
利息及び配当金の受取額	3,339	5,205
利息の支払額	△16	△5
法人税等の支払額	△4,203	△4,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△573,426	△754,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△47,943	△11,582
無形固定資産の取得による支出	△5,832	△234
有価証券の取得による支出	—	△500,000
投資有価証券の取得による支出	—	△41,612
投資有価証券の売却による収入	—	7,281
長期貸付金の回収による収入	2,500	2,500
投資事業組合からの分配による収入	33,901	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,374	△1,543,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,096,763	—
株式の発行による支出	—	△1,655
リース債務の返済による支出	△1,007	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,095,755	△2,079
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	504,954	△2,299,989
現金及び現金同等物の期首残高	4,396,333	4,651,181
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,901,287	2,351,191

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
特定細胞加工物製造業	318,523	—	318,523	—	318,523
CDMO事業	52,528	—	52,528	—	52,528
バリューチェーン事業	28,477	—	28,477	—	28,477
ライセンス収入	—	166	166	—	166
顧客との契約から生じる 収益	399,528	166	399,694	—	399,694
外部顧客への売上高	399,528	166	399,694	—	399,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	399,528	166	399,694	—	399,694
セグメント損失(△)	△154,038	△219,198	△373,237	△285,519	△658,757

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△285,519千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
特定細胞加工物製造業	300,622	—	300,622	—	300,622
CDMO事業	51,135	—	51,135	—	51,135
バリューチェーン事業	52,842	—	52,842	—	52,842
ライセンス収入	—	186	186	—	186
顧客との契約から生じる 収益	404,600	186	404,787	—	404,787
外部顧客への売上高	404,600	186	404,787	—	404,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	404,600	186	404,787	—	404,787
セグメント損失(△)	△231,709	△216,711	△448,421	△307,458	△755,879

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△307,458千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 当中間会計期間より、収益の分解情報をより明瞭な表示とするため、従来の単一の区分から、「特定細胞加工物製造業」、「CDMO事業」、「バリューチェーン事業」、「ライセンス収

入」の区分へと表示方法を変更しております。

この変更に伴い、前中間会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報を組み替えて表示しております。なお、当該変更による報告セグメントの変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月18日開催の第29回定時株主総会の決議に基づき、2025年1月31日付けで繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。

この結果、資本金が1,387,762千円、資本剰余金が1,327,182千円減少し、利益剰余金が2,714,945千円増加しましたが、株主資本の合計金額には変動はありません。

また、2025年2月17日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,850千円増加しました。

以上の結果、当中間会計期間末において資本金が5,102,250千円、資本剰余金が3,850千円、利益剰余金が△705,658千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。